

平成 26 年度 第 108 委員会活動結果報告書

第 108 委員会事務局 JBMIA

1. 第 108 委員会（オーディオ・ビデオ及び情報技術機器の安全性）

1-1. 活動概要（全体）	委員長	羽鳥 光俊
1-2. MT1 分科会活動概要	主査	塩田 武彦
1-3. MT2 分科会活動概要	主査	柴田 恵
1-4. HBS 分科会活動概要	主査	近藤 孝彦
1-5. JIS C 6065 改正原案作成活動概要	主査	原田 泰男
1-6. JIS C 6950-1 改正原案作成活動概要	主査	柴田 恵
1-7. JIS C 62368-1 原案作成活動概要	主査	塩田 武彦
1-8. その他 Ad Hoc 委員会活動	副委員長	柴田 恵

（参考 1）国際規格回答原案等リスト

（参考 2）国際会議出席者リスト

（参考 3）関連国際規格の現状と今後の計画（見通し）

## 1. 第 108 委員会（オーディオ・ビデオ及び情報技術機器の安全性）

委員長 羽鳥 光俊

### 1-1. 活動概要（全体）

平成 26 年度は、17 件の国際規格回答原案等について審議を行った。主な内容は、(1) に示すとおりである。国内規格については、(2) に示す 2 件の改正 JIS 及び 1 件の新規 JIS の原案作成検討を行うとともに、既存 JIS について電気用品安全法の技術基準との整合性確認を行なった。MT1 分科会、MT2 分科会、HBS 分科会、及び JIS 原案作成検討会の詳細は、各分科会活動概要の項参照。

#### (1) 国際規格対応について

平成 26 年度は、11 月に IEC 東京大会の中で、TC108 プレナリー会議及び傘下の WG が開催された。この会議には、委員長及び日本代表のエキスパートに加え、第 108 委員会の委員 11 名がオブザーバー参加し、国際会議の経験を積むことができた。

TC108 から発行される審議文書については、下記 17 件の投票を行った。

尚、光放射、音圧規制等については専門家との意見交換を行い、日本意見への展開を図った。

詳細は、添付資料“（参考 1）平成 26 年度国際規格回答原案等リスト”参照。

又、平成 27 年 5 月に開催される国際会議に向けて、各分科会で TC108 の審議文章を審議中である。

- NP (New Work Item Proposal) : 2 件
- CD (Committee draft for comment) : 2 件
- DC (Document for Comments) : 9 件
- CDV (Committee Draft for Vote) : 3 件
- FDIS (Final Draft International Standard) : 0 件
- DTR (Draft Technical Report) : 1 件
- Q (Questionnaire) : 0 件

#### (2) 国内規格対応について

##### 1) IEC 整合 JIS 原案の審議

次表に示す 3 件の JIS について、それぞれ JIS 原案作成検討グループ及び JIS 原案作成委員会を開催して改正原案の審議を行った。

規格番号及び標題	平成 27 年 3 月末時点の進捗
JIS C 6065 : オーディオ、ビデオ及び類似の電子機器－安全性要求事項 (IEC 60065:Ed.8 対応)	4 月開催の原案作成委員会での承認を得るための最終原案完了
JIS C 6950-1 : 情報技術機器－安全性－第 1 部：一般要求事	4 月開催の原案作成委

項 (IEC 60950-1:Ed.2.2 対応)	員会での承認を得るための最終原案完了
JIS C 62368-1 : オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器 第1部 : 安全性要求事項 (IEC 62368-1:Ed.2 対応)	3月の原案作成委員会でJIS原案が承認された。

2) 電気用品安全法技術基準に関する整合規格の審議

JIS C 6950-1:2009 及び JIS C 6065:2007 (追補 1:2009 を含む) の整合性確認を行い、技術基準性能規定化分科会に提出した。

1-2. MT1 分科会活動概要

主査 塩田 武彦

旧 TC92 が扱っていた規格、IEC 60065 『オーディオ、ビデオ及び類似の電子機器—安全性要求』の改訂提案プロジェクトを扱う IEC/TC108 のメンテナンスチーム 1 (MT1) に対応する国内委員会として、下記の審議を行った。

(1) 国際規格対応について

昨年度賛成投票を行った FDIS 文書が 6 月に IEC 60065 第 8 版として発行された。規格の審議においては、IEC 60065 第 8 版に関わる外部着火に関する要求及び IEC/TS 62441 の IS 化に向けた審議のために、米国サンノゼで開催 (2014 年 5 月) された TC108/MT1 会議及び東京で開催 (2014 年 11 月) された TC108/HBSDT 会議へ参加し、日本意見の反映を行った。

文書番号	表題及び概要	日本意見概要
108/557/CD V	(HBS分科会と合同審議：詳細はHBS分科会の項参照)	
108/562/CD V	IEC 62441/Ed1:ろうそくの炎による偶然な着火に対するセーフガード	賛成投票 (pHRR に対する情報を追加するコメントなど2件のコメント付き)

(2) 国内規格対応について

MT1 分科会では、取り扱わなかった。

(3) 今後の主要課題

平成 27 年度は、IEC/TS 62441 の IS 化は否決されたが、引き続き IEC/TS 62441 を IEC 60065 の中で引用する方向で検討が行われる予定であるため、その対応及び、国内での規格の審議と国際会議への参加を継続する。

(4) 平成 27 年度国際会議予定

- ・ HBSDT 米国/ノースブルック (H27.5) の中で審議
- ・ HBSDT ベラルーシ/ミンスク (H27.10) の中で審議

### 1-3. MT2 分科会活動概要

主査 柴田 恵

旧 TC74 が扱っていた規格、IEC 60950 『IT 機器の安全』パート 1 (一般要求) 及びパート 2 (個別要求) の改定提案プロジェクトを扱う IEC/TC108 のメンテナンスチーム 2 (MT2) に対応する国内委員会として、下記の審議を行った。

#### (1) 国際規格対応について

平成 26 年度は、IEC 60950 Part 2 の審議のために、米国サンノゼで開催 (2014 年 5 月) された TC108/MT2 会議及び東京で開催 (2014 年 11 月) された TC108/HBSDT 会議へ参加し、日本意見の反映を行った。

審議した文書と日本意見の概要は、下表の通り。

文書番号	表題及び概要	日本意見概要
108/537/CD	IEC 60950-22/Ed2: Information Technology Equipment – Safety – Part 22: Equipment to be installed outdoors IEC60950-22:屋外設置機器の第2版のCD	技術的なコメントを4件、編集上の修正のコメントを1件提出した。
108/557/CD V	(HBS分科会と合同審議：詳細はHBS分科会の項参照)	
108/561/CD V	IEC 60950-22/Ed2: Information Technology Equipment – Safety – Part 22: Equipment to be installed outdoors IEC60950-22:屋外設置機器の第2版のCDV	賛成投票 (キセノンランプへの暴露時間など2件のコメント付き)

#### (2) 国内規格対応について

MT2 分科会では、取り扱わなかった。

#### (3) 今後の主要課題

今後は IEC 60950-22 が FDIS を経て IS になるまで、国内での審議と国際会議への参加を継続する。IEC 60950 の Part 2 のその他の規格は、全て IEC62368 ベースの規格に変換されるため、HBS 分科会で扱うことになっている。

#### (4) 平成 27 年度国際会議予定

- ・ HBSDT 米国/ノースブルック (H27.5) の中で審議
- ・ HBSDT ベラルーシ/ミンスク (H27.10) の中で審議

### 1-4. HBS 分科会活動概要

主査 近藤 孝彦

IT 機器安全規格 (IEC 60950-1) 及び AV 機器安全規格 (IEC 60065) に置換わる、Hazard Base 安全規格 (IEC 62368-1) の第 2 版に対して、日本からの新規改訂提案の作成及び

TC108 から発行されている改訂案文書に対しての審議等を行った。また、光放射に関連する要求事項を改定するために TC76 国内委員会との協議を行い、改定提案文書の作成を行った。

「製造中における電気安全ルーチン試験」の要求事項を示した新たな規格 (IEC 62911) の作成、及び「接触電流及び予想接触電圧の測定」に関する規格 (IEC 60990) の改訂に対しても、HBS 分科会にて審議した。

(1) 国際会議&審議状況

平成 26 年度は、IEC 62368-1 Ed.2 以降のバージョンにおいて改訂すべき事項、及び IEC/TC108 が所管する IEC 62368-1 に関連した規格の改訂を審議するため、分科会を 5 回開催し、US・サンノゼ (2014 年 5 月) 及び日本・東京 (2014 年 11 月) にて開催された TC108/HBSDT 会議へ参加し、日本意見の反映を行った。審議した文書と日本意見の概要は、下表の通り。

文書番号	表題及び概要	日本意見概要
108/540/DT R	IEC 62368-2/TR/Ed2: Audio/Video, Information and Communication Technology Equipment - Part 2: Explanatory information related to IEC 62368-1:2014 IEC 62368-1 Ed 2.0に対する説明情報で、要求事項の根拠を示した文書。	賛成投票した。 ただし、リチウムイオン電池に関連した要求事項を適切に表現するための修正提案など、8 件のコメント提出した。
108/542/NP	IEC 62368-X/Ed1: Audio/video, information and communication technology equipment - Safety - Part X: Remote power feeding 現行規格である IEC 60950-21 の要求事項を IEC 62368 のコンセプトに合わせ規格化するものである。IEC62368-X の規格として発行するための新規提案文書。	賛成投票とした。
108/543/NP	IEC 6XXXX/Ed1: Particular safety requirements for equipment to be connected to paired conductor communication networks 通信網に接続される機器に対する要求事項を定めるものであり、IEC62151からの置き換えとなる規格を作成するための新規提案文書。	賛成投票とした。
108/545/DC	Evaluation of common Class I, IEC appliance receptacles for Class II use Class I機器用のカップラをClass II機器で使用する際の評価に関して、コメントを求める文書。	Class I機器用のカップラを使用する際、カップラの部分まではClass Iの構造が必要との意見を提出した。
108/551/DC	TC108 WG/HBSDT proposals for IEC 62368-1 as agreed in the San Jose meeting サンノゼ会議において審議された、IEC 62368-1 Ed.2 以降のバージョンにおいて、改訂すべき事項について、各国に意見を聞くための文書。	技術的なコメントを 5 件、編集上の修正のコメントを 3 件提出した。

文書番号	表題及び概要	日本意見概要
108/552/DC	TC108 WG/HBSDT proposal for IEC 62368-1 regarding acoustics 機器から発生する（騒）音に対する要求事項を追加する提案文書。	労働安全の規制などがあり、規格では規定すべきではないとの意見を提出した。
108/564/CD	IEC 62911/Ed1: Audio, video and information technology equipment - Routine electrical safety testing in production 「製造中における電気安全ルーチン試験」の要求事項の作成に関する文書。	試験電圧に関する技術的なコメントを1件提出した。
108/557/CD V	IEC 60990/Ed3: Methods of measurement of touch current and protective conductor current 接触電流及び予想接触電圧の測定に関する規格である IEC60990 の改訂投票用文書。 (108/534/DCの審議結果に基づく投票用文書)	賛成投票とした

(2) 国内規格対応について

HBS 分科会では取り扱わなかった。

(3) 今後の主要課題

IEC 62368-1 第2版以降のバージョン発行に向け、第2版での問題点等を解決すべく、日本からの積極的に提案を行うための意見を HBS 分科会において纏め、国際会議で提案を行う。日本の委員がアドホックリーダーとなっている案件に関しては HBS 分科会においても意見収集及び審議を行い、提案文書等を纏める。また、他国からの意見に対しても意見具申を行なう。IEC/TC108 が所管する IEC 62368-1 に関連した規格の改訂に関しては関連団体等とも連携を図り進める。

(4) 平成 27 年度国際会議予定

- ・ HBSDT 米国/ノースブルック (H27.5)
- ・ HBSDT ベラルーシ/ミンスク (H27.10)

## 1-5. JIS C 6065 改正原案作成活動概要

主査 原田 泰男

(1) 概要

平成 26 年に IEC 60065 の第 8 版が発行され、この第 8 版に整合した JIS を作成するために、原案作成検討委員会を立ち上げ 6 回の審議を経て、平成 27 年 2 月に原案作成委員会にドラフトを提案した。その後、原案作成委員会の審議と分科会審議を経て、平成 27 年 4 月に JISC6065 原案作成委員会で承認予定である。その後、第 108 委員会承認を経て、平成 27 年の電気用品調査委員会第 108 小委員会へ上程を行い平成 28 年に JIS 発行を予定している。

(2) 今後の主要課題

IEC 60065 の原文にあった誤りを修正すべく TC108 へ Corrigendum 発行を提案し、その修正内容を原案に盛り込み、JSA および JISC 審査に対応をしていく。

#### 1-6. JIS C 6950-1 改正原案作成活動概要

主査 柴田 恵

##### (1) 概要

JIS C 6950-1 追補 1 (IEC 60950-1, Amendment 1:2009 対応) は、平成 26 年 8 月に発行された。

IEC 60950-1, Ed.2.2:2013 対応の JIS を作成するため検討委員会を立ち上げ、7 回の検討会で原案作成委員会に提出するドラフト作成を行った。平成 27 年 2 月には原案作成委員会を立ち上げ、原案の検討を開始し、その後分科会にて原案の一部修正を行い、4 月の JIS 原案作成委員会で承認を得るべく、最終原案をまとめた。

##### (2) 今後の主要課題

上記の JIS について、JIS 原案作成委員会での承認を得ると共に、JSA に提出後に JSA 内の審査や JISC の委員会並びに経済産業省、総務省などの対応にあたり、JIS が発行されるまでフォローを行う。また、発行された JIS が電気用品安全法の技術基準の解釈別表第十二にも採用されるよう関係先に働きかける。

#### 1-7. JIS C 62368-1 原案作成活動概要

主査 塩田 武彦

##### (1) 概要

オーディオ/ビデオ、及び情報/通信機器の新安全規格 IEC 62368-1 Ed.2 に対して、JIS 原案を作成・提出する為、WG で活動を行った。平成 26 年度は、8 月迄、検討会を計 5 回実施して、JIS 原案の最終的な取りまとめを行い、9 月からは JIS 原案作成委員会/分科会として、JIS 原案の審議を原案作成委員会 3 回、分科会 6 回行い、3 月の JIS 原案作成委員会において JIS 原案が承認された。

##### (2) 今後の主要課題

当初の予定より遅れたが、5 月末に JSA に原案を提出し、今後規格調整委員会の対応を行う予定。

#### 1-8. その他 Ad Hoc 委員会活動

副委員長 柴田 恵

リチウムイオン電池使用機器の安全要求検討 (主査：原田)

附属書 M-TF で、M6.2 の漏れ電流に関する要求に関し、使用環境の基準判定であり、機器の安全基準判定として好ましくないこと、及び漏れ電流に関しては関連電

池規格及び本規格 5 章の中ですでにカバーされている理由により、5 月のノースブルック会議に M6.2 の削除を提案し、IEC 62368-1 第 3 版の DC 文書に提案を盛り込む予定。

以上